

を意識した活動に取り組んでいます。
さらに平成25年度には、群馬県と共催で「みんな

なごみ減量フォーラム」を開催し、ごみ問題について考えました。

2 自主的な取組に対する顕彰（群馬県環境賞顕彰）

県民の環境意識の高まりと環境活動へのより一層の参加を促進するため、環境分野において優れた実践活動、調査研究活動、自然保護等に顕著な功績があった県民や事業者等に対して、群馬県環

境賞（環境特別功績賞・環境功績賞）を授与するものです。

平成25年度の受賞者（環境功績賞）は次のとおりです。

表2-5-2-2 群馬県環境賞受賞者（環境功績賞）

氏名又は団体名	功績分野
井上 昭	環境保全、創造
須田 育男	環境保全、創造
関口 進也	環境保全、創造
鴫崎 勝一	環境保全、創造
買い物袋持参運動を進める住民会議	環境保全、創造
かごめ通り商店街	環境保全、創造
群馬県立安中総合学園高等学校	環境保全、創造
特定非営利活動法人ぐんま緑のインタープリター協会	環境保全、創造

氏名又は団体名	功績分野
元総社エコクラブ「わんぱく探検隊」	環境保全、創造
田中 正平	環境美化、ごみの減量化、再生利用等
太田地球環境を守る会	環境美化、ごみの減量化、再生利用等
齋藤 長作	自然保護
特定非営利活動法人エコ・ボランティア	自然保護
宮下 章	野生生物保護
倉淵猟友会	野生生物保護

コラム 「環境教育等における体験の機会の場」の認定について

【「体験の機会の場」認定制度とは？】

自然体験活動等をおして環境の保全についての理解と関心を深めることが重要になっていることから、民間で自然体験活動や環境保全活動の場として活用している土地や建物を、その所有者・利用者が「体験の機会の場」として、県知事又は中核市の長（前橋市・高崎市）から認定を受けることができるようになりました。

「体験の機会の場」として認定されることで、実施者が行う自然体験活動等は安全性やノウハウが確保されたものであるという公的な信頼性を得ることができる制度です。

また、行政はこの制度を活用し、認定施設等についてホームページなどで広く県民にPRし、体験の機会の場を利用することをきっかけに環境活動に取り組む県民を増やし、環境保全活動を推進します。

【「体験の機会の場」の認定へ向けた取組について】

前橋市のサンデンフォレストで実施する自然体験活動を「体験の機会の場」としての認定に取り組んでいます。平成26年8月1日付けで認定される見込みです。

名称及び所在地	サンデンフォレスト 前橋市粕川町中之沢
申請者	サンデンファシリティ(株)
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じた様々な自然体験活動や森林整備体験活動 ・生物多様性に配慮した環境を活用した様々な自然観察会や自然環境学習 ・自動販売機や冷凍冷蔵ショーケースを生産するサンデン株式会社赤城事業所の工場見学 ・日本自動販売機工業会の自販機ミュージアムで自動販売機の歴史や文化を学ぶ（ヒートポンプによる省エネ技術や災害対応自販機の体験）



3 花と緑のぐんまづくり推進事業

(1) 事業の趣旨

全国都市緑化ぐんまフェアの成果や花と緑の多様な役割を踏まえ、ぐんまクリーン大作戦等の既存事業を再構築し、平成21年度より以下の3つの展開方針により、花と緑あふれる県民参加の県土づくりを目指しています。

- ア 花と緑を活かした新しい県民参画型の事業展開
- イ 多様な主体の参画する推進体制の構築
- ウ 多様な意見を取り入れ事業をブラッシュアップ

(2) 事業の内容

県民代表者、県、市関係者等で構成する花と緑のぐんまづくり検討委員会で、事業展開及び推進体制が検討され、「花と緑のぐんまづくり推進プラン」が策定されました。

これに基づき、平成21年4月より花と緑のぐんまづくり推進事業がスタートしました。

ア 推進体制

多様な主体が参画、かつ全県的な事業展開を推進するため、以下のような協議会を設置しました。

全体協議会

【県、イベント開催市町、団体、企業等】

地域協議会：県内12地域

【県地域機関、市町村、自治会等】

イ 事業展開

花と緑のぐんまづくりを推進するため、以下の5事業を展開しました。

a 全体協議会で実施する事業

花と緑のぐんまづくり～ふるさとキラキラフェスティバル～

市町持ち回りの花と緑のイベント

開催場所：

H25【伊勢崎市】4月20日～5月19日

波志江沼環境ふれあい公園、伊勢崎市中心市街地

H26【沼田市】4月19日～5月18日

沼田公園、沼田市中心市街地

主な催事：沿道飾花、体験教室、コンテスト等

b ぐんま美緑化（みりょくか）PR作成

群馬の花緑をPR（バスツアー、HP活用等）

c 花と緑の総合行政

県庁内の花緑関係課で連携し花緑総合施策を実施（ぐんま花のまちづくりコンクール、街中緑化推進検討部会、花と緑のぐんまづくりシンポジウム）

d 地域協議会で実施する事業

花と緑のクリーン大作戦

飾花や除草など公共施設の美化活動を行う住民団体を支援

花のある道モデル事業

道路工事等で生じたポケットパークを再整備し、地域の方々の管理等への協力により再生

花のゆりかごプロジェクト

農業高校等と協力し、住民参加型花苗育苗供給システムを確立

e 県民の事業参加と交流のための事業

ふるさとキラキラサポーターズクラブ

事業への県民一人一人の参加を目的にサポーターズクラブを設置

企業等への協力により各種特典あり

図2.5.2.1 花と緑のぐんまづくり基本スキーム

